



議会だより



吾川・池川合同芸能祭

4年ぶりに開催された芸能祭、初の合同開催

十二月定例会

一般質問 (7人が登壇)・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2P～8P
コラム (1)発達障害とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3P
(2)フレイル予防「ハツラッツ」体験記・・・・・・・・・・	9P
審議の結果 (12月定例会)・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A (12月定例会)・・・・・	11P
仁淀川町議会議員研修の報告 (議会運営委員会委員長)・・・・・	12P
議会日記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13P
議長一口メモ！・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14P
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14P



議会中継視聴

仁淀川町のホームページからもアクセスできます。
<http://www.town.niyodogawa.lg.jp/>

スマートフォンで視聴

左記の二次元コードを読み取って、スマートフォン用サイトへアクセスできます。なお、スマートフォンで映像をご覧になる場合は、Wi-Fiを安定して利用できる場所での閲覧を推奨します。

本町の経済対策、
物価高騰対策について

⑤ さまざまな支援を進める

問 野村安夫議員

物価高騰に対する町独自の対策は、農業、商工業、山林業に携わる業者など、大変厳しい状況である。

国、県に対し積極的に要望し、住民一人一人にいきわたる対策を。

答 古味町長

物価高騰に対する支援は、支援交付金を活用し、地域通貨券の配布、給食費の無償化を実施している。

今後は国の補正予算を踏まえ、速やかに対応する。

農林業の活性化に向けては、さまざまな支援を進めながら対応していく。

高齢者の問題も、自分のできることを大切にし、生きがいや役割をもって、自分らしく暮らし続けられることを支援していく。

問 野村

地域通貨券は持続的に実施できないか。また、飲食店経営など、商工業の活性化の対策は。

答 町長

地域通貨券の発行は3回実施。バス・タクシー事業などの支援金、移動販売事業者の継続支援金、医療・介護機関の継続支援事業、価格高騰対策補助金なども実施している。飲食店経営に関しては、コロナ対策を通じて給付金の継続をしている。

答 大石総務課長

積極的に町内業者を利用するよう周知する。

問 野村

観光にも力を入れることで、観光客にお金を使ってもらい、町民が潤い笑顔になる施策を。

答 荒木企画振興課長

観光協会と協力して、地域事業者と勉強会を度々開催し、稼げる観光を目標に頑張っている。

選挙について

⑥ 意識の醸成を図る

問 野村

令和5年は、県議選、参議院補選、知事選が実施されたが、投票率が低く、最悪の状態である。町独自の投票率のアップを図るべきと思うが、町の考えを問う。

答 総務課長

低年齢からの選挙に対する意識の醸成を図っている。移動投票車の問題は厳しいが、来年度、選挙管理委員会が県内外の自治体に視察に行き、検討していく。

議会傍聴者へのアンケートまとめ（定例会）

令和4年3月定例会～12月定例会

Q5 今後も傍聴したいと思いますか

	3月	6月	9月	12月	合計
1 思う	4	1	1	1	7
2 機会があれば傍聴する	5	3			8
3 どちらとも言えない					0
4 あまり思わない					0
5 思わない					0

問 野村

選挙用ポスター掲示板は減少させたのか。

答 総務課長

参議院議員補欠選挙から、ポスター掲示板の数を151カ所から111カ所に減少。

問 野村

ある地域では、100mの間に2カ所あり減少している。

答 総務課長

地域の要望により実施している。

一般質問



問 片岡智準議員
令和5年6月、人口林伐採跡地での再生林率100%を目指す宣言をされたが、その後の進捗状況を聞く。

答 古味町長

森林資源を循環活用させることは、林業成長産業化を目指すためには大変重要な施策。しかし、近年担い手不足や森林所有者の関心離れから再生林事業は進んでいないが、宣言をしたこ

とで民間企業2社が立ち上がり、森林組合との連携で本町独自の宣言を目指していく。

問 片岡

森林の皆伐・植林は防災・減災の上でも大切なこと。林業研修生での構成であれば資金などで苦慮される。町の積極的な支援を。

答 町長

6月に立ち上げ、準備段階であるが、来年度以降順次、基金を活用しながら再生造林を進める。

発達障害者支援について
◎保護者会を中心に理解と支援の輪を拡大

問 片岡

令和5年7月、議会基本条例に基づく「意見交換会」で、発達障害者への支援要望が提案され、改めて総務民生教育常任委員会を開催。現状などの説明を受けたが、その後の進捗は。

答 町長

常任委員会後の11月22日

に保護者・教育委員会・健康福祉課で意見交換を行い、保護者の意向をお伺いし、町の現状を説明。しかし、発達障害についての認識が希薄な方が多く、今後は保護者会への協力周知や、関係機関と連携しながら発達障害に関する理解を広げ、実現可能な取り組みを検討していきたい。

問 片岡

専門家の話では、発達障害は診断名ではなく、いろいろな形態があり、中には、途方もない能力を持ち、偉人・賢人・著名人も輩出されているとのこと。

まず、両親が気づく、次に周囲の人に知ってもらい、支援していただく。最後に施設などの環境を整えるなど、できることを進めることが大切。

答 井上教育次長

教育委員会では保護者会を通じて周囲にも呼びかけ、広く理解を深めたい。

答 日浦健康福祉課長

関係機関とも相談し、支援など進めていきたい。



(1) “発達障害とは”

発達障害は脳機能の発達が関係する障害です。発達障害がある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手です。また、その行動や態度は「自分勝手」や「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。

その原因が、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものだと周囲の人が理解すれば、接し方も変わってくるのではないだろうか。

その形態として

自閉症、アスペルガー症候群、その他広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害

なお、発達障害は、複数の障害が重なって現れることもあり、障害の程度や年齢、生活環境などによっても症状が違ってくる場合がある。

発達障害は多様であることを理解ください。

例示

○注意欠陥多動性障害

集中できない、じっとしてられない(多動・多弁)、考えるより先に動く(衝動的行動)、道路の飛び出しなど

○学習障害

知的発達に遅れはないが聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなど著しい困難を示すさまざまな状態

○トゥレット症候群

一つ以上の音声チックが1年以上にわたり続く重症チック障害で、このような運動や発生を、本人はそうするつもりがないのに行ってしまうのが特徴

○吃音(症)

いわゆる一般に「どもる」という話し方

いずれにしても、早く気づき、正しい療育を行い、社会に適応し自立できるように育成することが大切です。

発達障害について正しく理解し、支援をお願いします。

(片岡智準 記)

町営学習塾を
開設する考えは

⑧ オンライン塾を

問 竹本文直議員

9月定例会で、「少子高齢化対策」が最優先課題であることを共有した。高齢化率を下げるには、子どもの数を増やすこと。大きく影響するのは、教育環境問題。

現在、町内に学習塾はないと思われ、主に佐川町に通っている状態だと思う。夜間に佐川町まで通うのは、保護者にとって大きな負担である。町内に塾があ

れば負担も軽減される。教育委員会として、町営の学習塾を開設する考えはないか。

答 黒川教育長

信州大学などの調査によると、全国で170の自治体が公営塾を設置し、学校外での公的な学習支援が進んでいる傾向にある。学校で学力の基礎基本を身につけた上で、希望する進路に向けて、自己実現のために、さらに高い学力を求めていくことは望ましく、必要なことである。

本町が公設で塾を運営すると考えた場合、費用負担や手法、利用する者としての者の格差の心配。町内には民営の塾があり、民営の塾との競合など配慮すべき課題もある。ただし本町の教育において、基礎学力の向上、進学までを見据えたときに、開設の可能性について検討する必要がある。今後、情報収集を進めながら、取り組んでいく。

問 竹本

町営にして民間塾にも協力していただいて運営する方法もある。本町の子どもを対象に、安い利用料で運営を。

そこで、地域おこし協力隊員で子どもの指導を担う人材募集をする。

また、東京のNPO法人が、高知市に無料塾を開設、という記事があった。この法人は、家や学校に居場所がない、塾に通うお金がない、そのような子どもたちのための塾で、家庭の経済状況に応じて、無料や低額な料金で通えるという塾であり、このような民間団体に、協力を打診し、取り組みを始めては。町長に聞く。

答 古味町長

児童生徒は、全員がタブレットを持っており、ウェブを活用した、オンライン塾も考えていきたい。また、利用料などの助成で対応できるのではないかと考えている。

問 竹本

本町の子育て政策、県内に率先してやってきたが、人口は減る一方。町独自の思い切った対策をすべき、塾だけには限らない。

町長は、選挙戦での「流れを変える」との訴えが、皆さんに届いたと思う。従来どおりのやり方ではじり貧、基金を取り崩してでも思い切った施策を取るべきだと考えるが。

答 町長

基金は積んでいるが、今後、人口減に伴い、交付税なども減額される。健全な財政運営をしていく上では、基金を大事にしていかななくてはならない。しかし、人口減少など、現在の状況を鑑みると、教育に使える基金の活用も考えながら、少しでも人口減を食い止めるような施策に力を注いでいく必要がある。

Q 6 議会に期待することは何ですか

	3月	6月	9月	12月	合計
1 行政の監視	4			1	5
2 政策提案機能の強化	2	3			5
3 議員間討論の充実	3	2	1		6
4 町民との積極的な対話	6	3	1	1	11
5 情報発信	3	1	1		5
6 その他					0

一般質問



仁淀川町将来の構想について

QRコード

答 雇用の創出が重要

問 岡田良成議員
人口減少で空き家が増え、年金は下がり、物価は上がり、生活に不安を抱えている町民に対して、希望のある町長のビジョンを問う。

答 古味町長
「住んでよかったと思える町づくり」を最優先に取り組み、人口減少、少子高齢化、財政状況、厳しくなっている。

令和11年度の町内の児童・生徒数
(予測)

小学校	池川	62人	106人
	別府	29人	
	長者	15人	
中学校	池川	30人	50人
	仁淀	20人	

る。人口の社会減少をなくすためには雇用の創出が重要だ。産業振興策、林業研修制度の継続、町産材の消費拡大、商工観光では稼げる観光を目指す。町民の交通や生活用品の確保のため町営バスの運行、移動販売業への支援も引き続き行っていく。医療の確保については、かかりつけ医をもつて在宅生活を送っていただけるようにする。

問 岡田
教育行政では、アンケートの結果、一貫校にすべきとの意見が多い。子どもの教育、クラブ活動のため、町外へ転出している家族がいる。町の中心、大崎への一貫校にすべきである。

町発注の公共事業が減少し、将来の存続に不安を持っている。事務所だけでなく、実態がない町外業者がある。今後は町民を守るために、地元の業者に発注をすべきではないか。

福祉行政では、高齢者にとって将来の生活に不安のない対策として高齢者住宅が必要。

町民が夢と希望を持ち、「住んでよかったと思える町づくり」を実行すべきでは。



旧吾川中学校周辺

所得が増え、町営住宅の家賃が月10万円以上となったが、民間住宅、宅地を探しても見つからない。両親もいる町内で暮らしたいが、やむを得ずに町外に転出した家族がいる。

問 岡田

答 町有地の分譲を考えている

答 町長
学校再編のアンケート調査結果により、小、中一貫校を進めていきたい。場所については、吾川中学校の跡地が良いと考えている。

町発注の公共事業は、地元企業を優先して発注する。

通院や買い物移動がスムーズにできる施策を考える。

町内で定住する施策として、町有の遊休地を活用しては。

地方交付税が1人に対し、年間38万8千円。3人家族の場合、年間116万4千円。30年間で、3千492万円入る。

このことから遊休地を坪1万で売却してどうか。

答 町長
宅地の確保が困難な本町において、定住を促進するためには、町有地の分譲が重要である。来年度は、大渡地区の高校跡地の分譲を考えている。

答 大石総務課長
仁淀高校跡地について、坪5千円で分譲を考えている。

は避けるべき
軽視はしない
質問の意
議会の軽視
は避けるべき
軽視はしない



委員 常任 民生 教育 総務 会
の報告を尊重

問 大野直孝議員

町民バススクールバスの指定管理について、令和3年度決算書、財産目録に屋根付車庫3棟。財産目録にない除雪機などの減価償却の経理など不明な点が多い。

剰余金の算定が正しいか質問しているのに、税理士が見ているからと、実地検査をしないのは議会軽視だ。実地検査をすれば、屋根付車庫の場所や購入時期・

金額もすぐに報告できる。町が実地検査をして、屋根付車庫3棟の帳簿と場所を確認して、議会へ報告すればいい。議会答弁では、必要があればやると言っている。14年間で、今ほど疑念を持たれた案件はない。町長は執行部の改革者として、剰余金の実地検査をしない総務課の職務を問うべきでは。

答 古味町長

剰余金の算定は、基本協定、旧基本協定書第9条の3に従って正しく行っており、屋根付車庫3棟は、5月に常任委員会で確認済みであり、再報告は不要。再報告をすれば、常任委員会委員長報告に反する行為で、議会軽視になる。

問 大野(直)

町の提出書類に、事実と違う記載がある。これが先ほどの(バス事業の)第15期の決算書。昨年11月に全員協議会で提出されたが、総務課長が、財産目録を読み上げて減価償却費を説明した。しかし、議事録では、

除雪機が入っていると書いたが、財産目録に記載がない。今、決算書類を問題視する。町営バススクールバスの管理運営に関する基本協定書第32条「虚偽の報告や報告・調査の拒否」に抵触し、指定取り消しも可能なほど重大事だ。指定取り消しを求めるわけではないが、除雪機の記載のない書類は誰が作ったのか。

答 大石総務課長

提出書類には、事実と異なる記載はない。基本協定書第32条に抵触することもない。指定取り消しということもない。

問 大野(直)

財産目録に除雪機がのっていないのはなぜか。

答 総務課長

これは指定管理審議会に提出された財産目録。令和3年度末のものではなく、令和5年度から指定管理を受ける場合の予定のもの。

問 大野(直)

第15期と書いてある決算

報告書は令和3年度のもの。除雪機を買ったのは令和2年の3月だが、売ったのは4年の6月であり、この報告書に載るべき。令和5年度の審議会に出した報告書は令和3年度のもので、除雪機があると説明したが、記載はない。屋根付車庫3棟の記載はあるが、実体はない。ないものがあって、あるものがないという財産目録は有効か。

答 総務課長

実績報告で、提出書類の中に財産目録が入っていない。

問 大野(直)

町営バススクールバス事業の業者選定について、議事録を請求したが、総務課から存在しないとの回答。町のプロポーザル方式に疑問があるが選定審議会委員に町職員はいたか。どのような環境で話したか。会議の内容説明を。

答 総務課長

審議会に、町職員はいな

い。一般の有識者6人で旧町村から2人ずつ選び、町からは、総務課の4人と教育次長、副町長が同席した。会議録はないが、音声データはある。

一般質問



町営診療所の改革



〔答〕人材確保難しい

問 藤原 大議員
本町で運営している2カ所の診療所は、どちらも土日が休み。金土・日月休みに分けてはどうか。また、入院設備の再活用など、少しでも差別化できないか。少子化対策として、産婦人科や小児科への変更、産前産後の短期療養への転用はどうか。

〔答〕古味町長

両診療所の差別化については、人員配置、看護師など

へき地医療での医師不足は深刻で、医療政策課にお願いし、医師の派遣をしてもらっている現状で、これ

〔答〕町長

病床数は周辺地域では過剰かもしれないが、町営では1軒もない。融通がきかないか。また、日本全体で人口が減少している中、出生率を上げる必要があり、産婦人科小児科など、専門医の誘致を。

〔問〕藤原

のローテーションや、土日に集中する医師の学会の出席など、乗り越えるハードルは極めて高く、両診療所の休日診療は考えていない。産婦人科、小児科への変更は、特色のある医療への転換と思うが、専門医の確保は難しく、これからも町民に寄り添ったかかりつけ医として、地域医療の充実を図っていく。入院機能の再開についても、本町が属する中央保健医療圏内は、病床過剰地域であるため難しいと思われる。

〔答〕全町の視野で検討

まちづくりの全体像

以上の派遣は困難と思われる。1人の医師の確保がやっとという状況。

〔問〕藤原

本町には、都市計画がなく、各々が自由に土地を利用している。昔ながらの商店街は今、店を閉め住居化しており、各地で店が点在する状態となっている。結果、町内での買い物が不便になり、町外の大型店へ流れていると思われるが、補助金の出し方などで工夫し、住居地域や商業地域といった区分けができないか。

〔答〕町長

町の計画には、地域ごと、商店街ごとにある一定の用途に絞った取り組みはない。本来、町内の商店街は、地域ごとの中心地として多面的な機能があるが、住居としてだけのお宅も多くなっており、多面的機能が失われている。今後、「仁

〔問〕藤原

淀川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直す際には、全町の視野に立つて検討する。

〔答〕荒木企画振興課長

町内で観光客が一番訪れているのは、宮崎の河原だと思う。木材工場跡地に消防屯所や町営住宅を建設するという提案がされていたが、観光客が多く、見晴らしも良い場所で、商売をするのが適切なエリアだと考えるがどうか。

〔答〕町長

観光面については、土居川周辺の観光客が多く、一定の事業者の店舗があるが、現在は各店が点在する形になっている。今後はそれにプラスする形で、いくつかの施設を充実させ、散歩感覚で周遊できるよう、計画見直しの際には中身に盛り込みたい。

木材工場跡地の利活用については、民間で宿泊施設などが計画されているとの話も聞いており、動向を見極めながら考えていく。

※読後、議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください

(仁淀川町議会事務局) ☎0889-35-1081

☎781-1592 吾川郡仁淀川町大崎200番地

※メールアドレス gikai@town.niyodogawa.lg.jp

※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

带状疱疹 ワクチンの接種 に補助を



〔答〕前向きに検討

問 藤堂賢太郎議員

50歳から80歳までに3人に1人の割合で带状疱疹にかかるといわれている。非常に痛みが強く、神経痛になれば完治に3カ月ほどかかる。本町に带状疱疹の発症データがあれば件数を。ワクチン接種の回数と接種費用を聞く。ワクチン接種を受けやすいよう補助の検討を。

答 古味町長

発症数は把握できていない。ワクチンは2種類で接種は1回または2回。任意接種で、費用は医療機関ごとに決められている。現在、国の審議会で定期接種化の議論中。その動向を注視し、前向きに検討したい。

答 日浦健康福祉課長

子どもの水ぼうそうの委託料が1万1千132円なので同額くらいと思われる。助成を行っている自治体の助成額は、1回3千円から2万2千円との資料がある。

マイナンバーカードについて

〔答〕3千690件で交付率77%

問 藤堂

マイナンバーカードの取得は任意。マイナポータルに保険証・運転免許証・公共料金受取口座など、29項目の情報取得が可能。貴重で重要な内容のデータは常時持ち歩けない。

マイナ保険証の利用率

は、全国で4月6.3%、9月4.55%と毎月減少の報告が出され、全国保険医団体連合会の調査では、医療機関の87.8%が来年の秋以降も保険証の存続を求めている。次の3件について伺う。

①本町のマイナンバーカードの発行数。うちマイナ保険証は何枚か。

②マイナ保険証の紐付けでのトラブルは。

③医療機関でのマイナ保険証の利用状況は。

答 町長

①マイナンバーカードの交付は、11月26日時点で3千690件、交付率は77%。そのうち保険証登録者は、国民健康保険で1千83人中752人、後期高齢者医療で1千728人中929人。②紐付けでのトラブルはない。③本町でのマイナ保険証の利用数の分かる資料はない。

問 藤堂

令和6年10月から中止される予定の従来の保険証

は、このまま継続してほしい。これに代わるものがあるか。

答 谷脇医療保険課長

国民健康保険と後期高齢者医療保険は、毎年8月に更新。

令和6年はこの紙の保険証が発行されるが、それ以

降は発行されないと思う。保険証が発行されなくなると、マイナ保険証の方はマイナンバーカードを利用。マイナンバーカードを所持していない方、マイナンバーカードに保険証登録できていない方は「資格確認書」が交付される。

4ページから続き

Q7 町議会全般についてのご意見

- ・みんな熱心にやっている
- ・若手議員と女性議員が必要ではないか？
- ・町政に関する具体的な質問・返答が少ない。
- ・議員の質問に対する執行部の答弁がかみ合っていないことが多い。

	3月	6月	9月	12月	合計
総傍聴者数（新聞記者除く）	16	17	15	14	62

3～12月定例会 傍聴者合計

62

(※参考 8月臨時 8)

動 議

■大野直孝議員の議会で
の発言について

若藤敏久議員

《提案理由》

大野直孝議員の一般質問
の中で、議會を侮辱するよ
うな発言がみられた。

各議員の意見を聞きた
い。

若藤議員より動議が提案
され、複数の議員の同意に
より提出された。

審議の結果、賛成多数。

大野直孝議員に対し、
「公開の議場における戒
告」



(2) フレイル予防「ハツラツ」体験記

私も古希目前となり、健康には人一倍気を付けています。毎日、8千歩以上歩くことを心掛けており、これだけで力的には十分だと思っていました。

ある日、先輩から「『フレイル予防』の体験してみんかよ」というお誘いを受け、どんなものを体験するため10月23日午後到大崎保育所2階の大崎地域集会所へ行きました。

準備してきたものは、運動着、室内靴、タオル、飲み物だけです。すでに着いている人たちが何かの測定をしているようでした。

そして私も、1m四方ほどの場所を提供していただき、フレイル予防の体験が始まりました。

初めに、準備運動「ストレッチ」ですが、これがなかなかです。小松先生の指導のもと、立ったり座ったり、足首を回したり力を入れて曲げたり、かなり念入りです。体のあちこちを伸ばしたり力を入れたり、普段気がつかないようなところを使うような気がしました。普段ならこれくらいやったら終わりですが、これから本番。3種類の器具で運動をします。

私は最初に自転車こぎのような「ふみふみ」を選びました。普段歩いているので楽々です。周りをみるとじっと立ったままの人もあります。あれは楽そうだと思って、次にやってみましたが、これは足を置くところが斜めになっている「のびのび」という器具だそうです。立つにはアキレス腱を伸ばさなければいけません。私にはこれがきつかったです。知らず知らずのうちに腰が引けてくるのですが、フレイルサポーターの「お支えさん」が何げに後ろから手で押さえてくれます。「おお！」これは効きます。

次は、段を登ったり下りたり「のりおり」運動です。これも、普段から歩いているので何とかしのぎました。



お支えさん



ふみふみ

「さあ、終わったぞ」と、思うまもなく、整理運動が始まったようです。これも念入りに行いました。後日、寝るときに足がつかなくなり、やはり私も普段ストレッチしてないからなまっていたようです。今回は一日体験でしたが、すごくよかったです。今回私が一番若いと言われましたが、古希を超える前から体験しておいてよかったと思いました。

(大野直孝 記)

議案の審議結果

令和5年第5回仁淀川町議会12月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
報告第11号	専決処分の報告について(物損事故に係る和解について)	原案報告	報告のみ
議案第44号	仁淀川町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第45号	仁淀川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第46号	特別職の職員等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第47号	仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第48号	仁淀川町一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第49号	仁淀川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第50号	仁淀川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議案第51号	仁淀川町デイサービスセンター「とちの木園」の指定管理者の指定について	原案可決	全員賛成
議案第52号	仁淀川町デイサービスセンター「池川」の指定管理者の指定について	原案可決	全員賛成
議案第53号	仁淀川町デイサービスセンター「せいらん荘」の指定管理者の指定について	原案可決	全員賛成
議案第54号	笑美寿茶屋の指定管理者の指定について	原案可決	全員賛成
議案第55号	仁淀川町ふれあい公園キャンプ場等の指定管理者の指定について	原案可決	全員賛成
議案第56号	令和5年度仁淀川町一般会計補正予算(第4号)について	原案可決	全員賛成
議案第57号	令和5年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	全員賛成
議案第58号	令和5年度仁淀川町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	全員賛成
議案第59号	令和5年度道路メンテナンス事業 町道大崎向口線(大崎橋)橋梁修繕工事請負契約の締結について	原案可決	全員賛成
同意第7号	農業委員会委員の任命に係る認定農業者過半数要件の例外適用について	原案同意	全員賛成
同意第8号	農業委員会委員の任命について	原案同意	反対:野村議員

議案の審議

そこが聞きたい

— 第5回（12月）定例会 —



■仁淀川町デイサービスセンター「とちの木園」の指定管理者の指定について

問 竹本文直議員

指定管理期間がすべて3年となっている理由は、新規参入者は、現行どおり1年、そして3年、その次は5年というような形にできないか。

答 大石総務課長

3年の根拠は特にない。提言を参考に、今後各指定管理者と意見交換をしながら、検討していく。

問 竹本

特にデイサービスセンターなどの施設は、継続的にやっていかないと、頻繁に業者が変わったのでは利用者も戸惑うと考えられるので検討を。

答 総務課長

今後、指定管理者と協議をしながら検討する。

■令和5年度仁淀川町一般会計補正予算（第4号）について

問 竹本

9款第1項の7節の報償費、12万円は学校統合に関する委員増の報酬分のことだが、何人増えたのか。

答 井上教育次長

第1回の再編検討委員会の中で、小中一貫校として、再編するとなった場合、開校するのが早くて、令和12年度予定となっており、その頃に学校に通う児童の保護者は、現在の保育所に通われている保護者。その方々の意見は非常に重要であるということから、保育所、こども園から、園児の保護者代表者を加えるべきだとの声があり、三つの保育所、池川こども園の保護者代表者の方1人ずつ、4人を追加した。

問 竹本

4人は保護者の代表。学校関係は校長先生が入っているが、なぜ、園について

ては、園の関係者、園長なりが入っていないのか。

答 教育長

委員の数が増えるので、園長などは参考人として、必要に応じ出席していただくことを考えている。

問 藤原大議員

国の補助金で非課税世帯に臨時特別給付金7万円ずつ給付とあるが、補助金が9千100万円、1千300世帯で間違いないか。

また、町全体の世帯数と、非課税世帯の内訳（生活保護や障害者など）について伺う。

答 井上町民課長

非課税世帯は、前回の対象者1千255世帯。増えている可能性があるもので1千300世帯で予算をとっている。

答 荒木企画振興課長

町全体の世帯数は、11月30日時点で2千703世帯となっている。

■農業委員会委員の任命について

問 野村議員

高齢の方に農業委員を再任するのはいかなものか。再考を。

答 田代農林課長

農業委員は公募で、年齢制限はない。高齢ではあるが、続けていく意思があり、体力的にも問題ないと考えている。ご理解願いたい。

仁淀川町議会議員研修の報告について（議会運営委員会委員長報告）

去る10月3日(火)～4日(水)の日程で、茨城県美浦村^{みほむら}に行っていました。参加議員は10人中5人でございます。

研修テーマは「町長選挙と議員選挙の同時選挙を検討する」でした。

茨城県美浦村は、平成31年にこれを行っており、研修の中では、「議員個々の損得を考えず、村民のために行った」や、これを行うまでに全議員で何度も話し合いを行い、実現にこぎつけたなど、かなり積極的に協議したと思われます。

同時選挙もありますが、我々が感銘を受けたのは、月に1回は必ず全議員が集まる「自治研究会」というものを開催している点でございます。当議会にも「総務」「産業」などの常任委員会がありますが、それとは別に月1回の議員全員による会合を行っていることに、研修に参加した議員は刺激を受けました。

当議会が解散・同時選挙に向かうには、まだ理解と議論を深めないと実現は厳しいかと思われませんが、将来的には検討を重ねていくことが大切だと認識し、この研修が意義あるものであったことは確かでございます。

また、美浦村議会の皆さんや、議会事務局、職員の皆さんには、多大な歓迎を受け、この場をお借りし、お礼を申し上げます。



(議長総括)

1泊2日の日程で、茨城県美浦村での研修。表題のとおり、本町としては「自主解散を行い町長選挙との同時選挙を行う」には議会としてどのような思いや手順等があったのか、美浦村議会にご教授願った。参加議員は少なかったが、この機会にさまざまな勉強や交流を行いたいとの意見も多かった。

美浦村では平成31年に議会議員の満場一致で解散の決議を行い、任期を2カ月ほど残し、解散に踏み切ったと聞く。

それは何より村民への体力的、経済的な負担軽減（同時選挙で約1,200万円の経費節減）を最優先しての決定であったと伺った。本町でそれを行うと概算ではあるが、約800万円の経費節減となる。議員不在の期間ができることや、議員報酬面での対応を伺うと、「議員自らの損得は全く考慮していない」との回答も受けた。

研修テーマとは直接関係のない「自治研究会」など、月に一度は必ず全員が集まり会合を開くなど、見習うべき考えであろうと思う。

解散同時選挙の講習も多く行っていたが、やはり美浦村でも議員のなり手は慢性的に不足しているようで、司会を行っていた議会運営委員長は26歳で出馬、現在7期目で51歳と伺う。自分より若い世代は出てきていないそうで、本町も同じ課題を抱えている。

何より、美浦村議会、事務局、役場を挙げての熱烈的な歓迎を受け、心温まる研修と交流ができた。美浦村議会も当時は解散同時選挙を行った町村に研修に行ったという。

本町においても、町民からの要望が多くなり、志を同じくする同僚議員もさらに出てくれば、真摯に前向きに考えていかなければならないと痛感し、帰路に着いた。

議
会
日
記

令和5年9月

5日 定例議会

8日 全員協議会

10日 下名野川地域敬老会

16日 池川中、仁淀中体育祭

17日 森山地区敬老会

19日 県議長会中ブロック打ち合わせ

22日 吾川郡議会議長会

23日 正ノ石地区敬老会

24日 別府小・ふたば保運動会

25日 高知県町村会特別委員会

26日 議会だより特別委員会

28日 四国四県町村長・議長大会

30日 長者小・保運動会

10月

3日

仁淀川町議会先進地視察研修

5日 じん肺全国キャラバン

6日 四国地方整備局要望活動

8日 越知町コスモスまつり

13日 四国地区町村議会議長会研修会

18日 議会だより特別委員会

23日 総務教育民生常任委員会

26日 トップセミナー

11月

1日 令和5年度高知県戦没者追悼式

10日 土佐・長岡・吾川郡合同研修会

12日 全中ソフト準優勝祝賀会

16日 仁淀川町健康福祉大会

24日 全員協議会

28日 県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会、

30日 第67回町村議会議長全国大会
議会運営委員会



牧野富太郎が仁淀川町で発見した植物たち
「ヤマシヤクヤク(山芍薬)」



山芍薬(白)



山芍薬(赤)

ぼたん科(山地の林下に生える多年草 花期4～5月)

「立てば芍薬、座れば牡丹…」の例えがあるように優美な花。紅いベニヤマシヤクヤクは、仁淀川町では、まれ。牧野富太郎博士ほか何人かの人が長坂村(現・上名野川)ほかで発見した標本をもとに、1898(明治31)年に牧野が命名している。

撮影・著 吉岡 郷継

議長一ロメモ!

議長就任から、はや2年が経過しようとしています。

就任時に、町発展のため諸課題に取り組み、町民の声に耳を傾け信頼される、また、町民の方々がより身近に感じられる議会を目指すことを掲げてまいりましたが、まだまだ成果が出ていないのが現状です。

今後も仁淀川町議会基本条例に基づき、町民に分かりやすく、開かれた議会を目指し取り組んでいきます。

インターネット配信も行っておりまして、ぜひ多くのご意見をお寄せいただければと思います。

議長 大野 弘

編集後記

注目の朝ドラが終了し、牧野富太郎の業績が再浮上した一年でした。

牧野先生と本町との関係も深く、中でも広報によどがわでも紹介された、名野川村の医者・大倉遊仙との関係は大いに興味を引くところです。

また鳥形山でも牧野先生が名付け親となった植物がたくさんあり、元別枝中学校校長の吉岡重忠先生が息子さんの吉岡郷継氏とともに写真集「鳥形山系の花たち」を出されたのは、本町でもよく知られています。その貴重な原版写真を議会だよりで使わせていただいております。

吉岡郷継様にこの場をお借りして、編集委員一同、お礼申し上げます。

(大野 直孝 記)

議長	大野 弘	委員	藤原 大
		副委員長	藤崎 源彦
		委員	藤堂賢太郎
			大野 直孝
			竹本 文直